

令和二年一月一日 祈願祭

神 示

——「人生の真理」あるべき心の姿を知って

「真理」を心の支えに「生きる」信者を目指す——

この思いを強く持ち 日々の出会いを大切に「生きる」者は皆

神の手の中 「運命の力」が引き出され

時代の流れに乗って

「生きがい」多い人生を歩んでゆける

世界の姿は まだまだ変わってゆく

自然の調和を図るため 時代の力が働いている

変化にのみ込まれずに 社会に奉仕する心を知って 日々生きる

家族で「教え」を学び 「真理」に生きる家庭をつくる努力が必要

「道の真理」を知って日々歩むところに

人間は 「人生」あるべき心の姿に 気づき 悟りを深める

「教え」に生きる人は皆

人生の尊さに気づき

人との出会いを大切に「生きる」心の人を目指す

信者に申す

神が使者を通し 世に示す「人生の真理」 心の教えを大切にされよ

「教え」が信者の人生を 悔いなき歩みへと導く

家族で「教え」を学ぶほど

家族の心は重なりを深め

「運命の力」が家庭の中で磨かれてゆく

「運命」に重なる人生を歩むことで

人は皆 社会に奉仕し 「人生の歩み」を「心の道」に残す

「人生」——

神の手の中 人が「生きる」 尊き時と悟りを得て

天命を全うする人を目指せよ